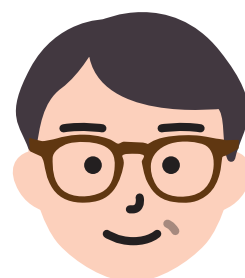
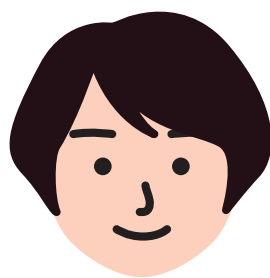
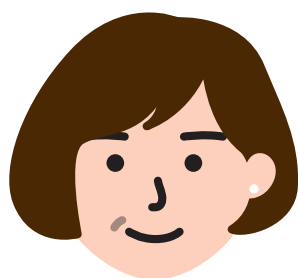


安田の

親子で知る

が く
学 サ ポ



一人暮らし



留学



奨学金



安田女子大学

安田女子大学の進学サポート

本学では、さまざまな奨学金制度や学生生活サポートを設け、学生の学ぶ意欲を高めます。

高校生の方へ



あなたの努力が学費負担の軽減につながる「YASUDAパスポート」は700名へ増枠。国公立並みの学費で、学びも留学も欲張れます。無料朝食や学内バイトなど、あなたの「挑戦」に大学が全力で伴走します。

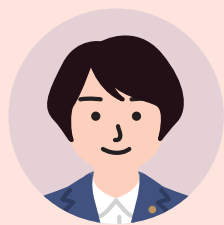
保護者の方へ



700名対象の「YASUDAパスポート」は学費を国公立並みに軽減。合格時に認定が決まる安心感に加え、食支援や専用住居も充実しています。経済・生活面から、大切なお子様の夢を共に支えます。

● 奨学金一覧

区 分	名 称	種 類	対象学部・学科
安田独自	YASUDAパスポート	授業料減免 返還不要	全学部
	母子家庭進学支援奨学金制度	授業料等免除 返還不要	全学部
	薬学部特待生制度	授業料免除 返還不要	薬学部
	長期留学支援制度(グローバルサポート)	給付奨学金 返還不要	英語英米文学科 国際観光ビジネス学科
国	高等教育の修学支援新制度	給付奨学金 返還不要	全学部
		授業料等減免 返還不要	全学部
日本学生 支援機構	第一種奨学金(無利子)	貸与奨学金	全学部
	第二種奨学金(有利子)	貸与奨学金	全学部
広島県	ひろしまDX人材育成奨学金(無利子)	貸与奨学金 ※条件付きで 返還不要	情報科学科



YASUDAパスポート

返
還
不
要

挑戦する理由になる。

本命でも、併願でも。

チャンスは同じ。

進学も、家計も、あきらめない。

努力が、そのまま学費になる奨学金。

POINT

1 「自分にも届く!」と思える、圧倒的な対象者数!

2027年度入試から、認定枠を500名→700名へと増枠!

認定枠 **700** 名程度

2 学費負担を国公立並みに軽減!

● 薬学部以外

授業料を **35** 万円／年に減免

● 薬学部

自宅外通学

授業料を **50** 万円／年に減免

自宅通学

授業料を **80** 万円／年に減免

3 本命でも、併願でも、志望度に関わらず対象!

対象入試は、一般選抜[前期A・B・C日程]と共通テスト利用選抜[前期日程]です。
専願制入試で合格した方も、YASUDAパスポート対象入試にチャレンジができます。

2027年度入試から、
共通テスト利用選抜[前期日程]
が新たに対象入試に!

4 入学前に決まる安心感!

入学後の募集ではなく、合格時に奨学生が確定します。進学前に、学費の見通しを立てることができます。

みなさんの不安や負担を、YASUDAパスポートが支えます!

● 不安や不満を含めて日頃悩んでいることや
気にかかっていることについて

『生活費やお金のこと』と回答した大学生

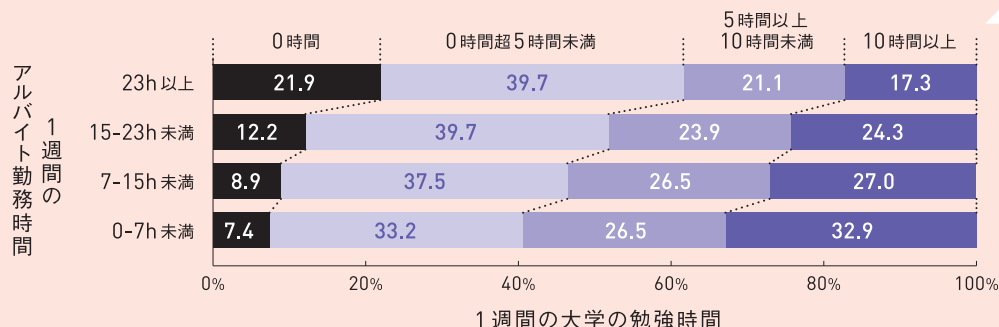
40.3%

● 奨学金を返還することに対する不安について
貸与型奨学金受給者のうち

『不安を感じている』と回答した学生

71.4%

● 1週間のアルバイト勤務時間別の大学の勉強時間(授業以外の予習・復習)



アルバイト勤務時間が長い学生ほど、予習・復習に十分な時間を確保できていない傾向があります。

こうしたアルバイトの時間を少しでも軽減することで、日々の学修や資格取得に向けた自己研鑽などに充てる時間を増やすことができます。

※ 1週間のアルバイト時間それぞれを100として ※ 1週間のアルバイト時間と1週間の大学の勉強時間の無回答は除く
出典：全国大学生生活協同組合連合会「CAMPUS LIFE DATA 2025」(2026年3月)

YASUDAパスポートの詳細は次ページへ▶



YASUDAパスポート

● 対象者（認定枠）

全学部で **700** 名程度

対象入試制度の合格者のうち、合計得点率60%以上の者から、各学部の認定枠に応じた成績上位者を奨学生に認定します。

学部および対象入試ごとの認定枠の内訳

	一般前期	共通 利用前期	学部計
文学部 日本文学科、書道学科、英語英米文学科	80	30	110
教育学部 児童教育学科、幼児教育学科	40	20	60
心理学部 現代心理学科、ビジネス心理学科	40	20	60
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科、国際観光ビジネス学科、公共経営学科	60	30	90
家政学部 生活デザイン学科、管理栄養学科、造形デザイン学科	60	30	90
薬学部 薬学科 通称 薬パス	60	40	100
看護学部 看護学科	30	15	45
理工学部 生物科学科、情報科学科、建築学科 通称 Rikoパス	100	45	145
大学計	470	230	700

● 内容

● 薬学部以外

年間授業料（学科によって異なる）

90-139万円を
35 万円に
減免

● 薬学部

年間授業料 **164**万円を

自宅外通学
50 万円に
減免

自宅通学
80 万円に
減免

授業料に
含まれないもの

- 全学部：入学料、施設設備費、諸費、入学後に実費徴収や購入をするもの（材料費、教科書等）、教育実習・学外実習・調理実習等のある学科については関係諸経費
- 英語英米文学科・国際観光ビジネス学科：5ヵ月留学にかかる渡航費、ホームステイ費用
- 薬学科・看護学科：実務・臨地実習費

● 対象入試

一般選抜[前期A・B・C日程]、大学入学共通テスト利用選抜[前期日程] ※併願制

年内入試の合格者もチャレンジ可能！

自己表現型選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜（指定校）に合格し、入学一次手続きを完了した方も、受験（チャレンジ）が可能です。YASUDAパスポートの対象入試に合格した後で、入学一次手続き金の振替※を行うことができます。

※専願制入試の一次手続完了者は、同一学科に限り振替可能とし、振替後も本学への入学は辞退できません。

一般選抜[前期B・C日程]は、本学のほか学外21試験会場で受験可能！

B日程：2027年2月3日（水）

東京、大阪、米子、岡山、福山、徳山、徳島、松山、
高知、小倉、福岡、長崎、熊本、宮崎、那覇

C日程：2027年2月4日（木）

東京、大阪、松江、岡山、福山、山口、高松、
松山、小倉、福岡、佐賀、大分、鹿児島

● 期間

**最長4年間
（薬学部は6年間）**

※入学後、学生の本人および学則を守り、成績が本学の定める基準（各年度における成績が「学科内で下位4分の1に該当しないこと」または「GPA2.30以上」）を満たす必要があります。成績基準の確認は、1年次から3年次（薬学部は1年次から5年次）まで、毎年度末の成績確定後に行います。基準を満たさない場合は、次年度からYASUDAパスポートの資格を失います。

初年度納付金イメージ

理工学部の場合

	入学科	80,000円		初年度納付金合計
● 本学理工学部に通入学	施設設備費・諸費	249,000円	授業料	1,150,000円
				 1,479,000円
● 本学理工学部に通 YASUDAパスポートで入学 (Rikoパス 認定)	施設設備費・諸費	249,000円	授業料	350,000円
				 679,000円
● 国公立大学理工学部に通入学	入学科	282,000円	授業料	535,800円
				 817,800円

薬学部 自宅外通学 の場合

	入学科	80,000円		初年度納付金合計
● 本学薬学部に通入学	施設設備費・諸費	249,000円	授業料	1,640,000円
				 1,969,000円
● 本学薬学部に通 YASUDAパスポートで入学 (薬バス 認定)	施設設備費・諸費	249,000円	授業料	500,000円
				 829,000円
● 国公立大学薬学部に通入学	入学科	282,000円	授業料	535,800円
				 817,800円

よくある質問

Q YASUDAパスポートを、共通テスト利用選抜[前期日程]で狙う場合、自己採点をした後で出願可能でしょうか？

A 可能です。自己採点で本学が指定する教科・科目の合計得点率が60%以上であるかどうかを確認して出願することができます。

- 令和9年度大学入学共通テスト／実施日：2027年1月16日(土)・17日(日)
- 大学入学共通テスト利用選抜[前期日程]／出願期間：2027年1月4日(月)～1月20日(水)

Q 繰り上げ採用や在学採用はありますか？

A 繰り上げ採用と在学採用はありません。
なお、出願件数が複数の場合、出願(入試)ごとに、YASUDAパスポート認定の判定を行います。

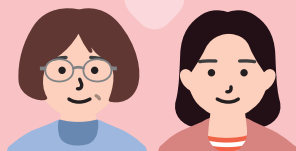
Q 他の奨学金と併給できますか？

A 本奨学金は、他奨学金との併給が可能です。
なお、高等教育の修学支援新制度の対象となる場合は、本奨学金適用後の授業料を基に減免額が算定されます。

母子家庭進学支援奨学金制度

返還不要

「母子家庭だから」で
進学をあきらめないために



支援内容

全額免除

全額免除の対象となるもの

- 出願者の入学検定料
- 合格者(=奨学生認定者)の入学料
- 在学中の授業料・施設設備費・諸費(入学後4年間、薬学部は6年間)

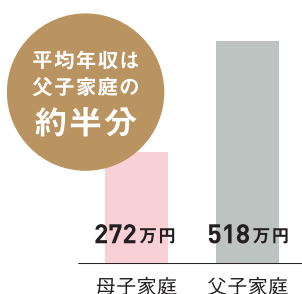
全額免除の対象とならないもの

- 薬学部・看護学部等の実務・臨地実習費
- 英語英米文学科・国際観光ビジネス学科の留学に係る渡航費やホームステイ費用
- 入学後に実費徴収・購入するもの(材料費、教科書等)

選抜方法

対象入試	母子家庭進学支援奨学生選抜 ※専願制
認定枠	全学部・全学科で10名程度
対象者(出願資格)	母子家庭の女子で本学への進学を強く希望する者
出願可能学科数	2学科まで出願可能
期間	最長4年間(薬学部は6年間) ※入学後、転学部・転学科や退学時、母子家庭の環境でなくなった場合には支援を終了します。なお、2年次以降、年度始めに家庭環境の現況確認を行います。

母子世帯と父子世帯の平均年収



出典:厚生労働省「令和3年度 全国ひとり親世帯等調査」

この制度に込めた思い

母子家庭の平均年収は約272万円と、父子家庭の約半分。

非正規雇用も多く、進学を希望しても経済的な理由で断念するケースが少なくありません。

本学は女子教育機関として、困難な環境でも未来に向けて努力を続ける女性を支援したいと考え、「母子家庭だから進学できない」という状況を少しでも減らすために、この制度を設けました。

学びたいという意志を強く持っている方の後押しになることを願っています。

薬学部特待生制度

返還不要

「6年間の学費」で
薬剤師をあきらめないために



支援内容

授業料を**全額免除**

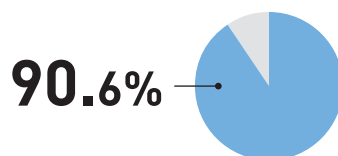
全額免除の対象とならないもの

- 入学料
- 施設設備費
- 諸費
- 実務・臨地実習費

選抜方法

対象入試	大学入学共通テスト利用選抜[薬学部薬学科特待生選抜] ※併願制
認定枠	薬学部薬学科20名
対象者(出願資格)	令和9年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定する4教科6科目の合計得点率が75%以上の者
期間	最長6年間 ※入学後、学生の本分および学則を守り、成績が本学の定める基準(上位50%以内)を満たす必要があります。成績基準の確認は、1年次から5年次まで、毎年度末の成績確定後に行い、基準を満たさない場合は、次年度からYASUDAパスポート(薬パス)となります。

薬学部卒業生
薬剤師国家試験合格率(累計)



※2012～2025年度累計
合格者数985名／卒業生1,087名

国家試験支援体制

国家試験合格に向け「チューター制度」や、担当教員による「キャッチアップ制度」などで、学生一人ひとりをきめ細かくサポート。学生同士が切磋琢磨しながらモチベーションを高めるグループ学習、弱点を克服する補習授業、さらに定期的な模擬試験や外部講師による講習会など、さまざまな試験対策を実施しています。

長期留学支援制度（グローバルサポート）

返還不要

「留学費用」で海外への挑戦をあきらめないために



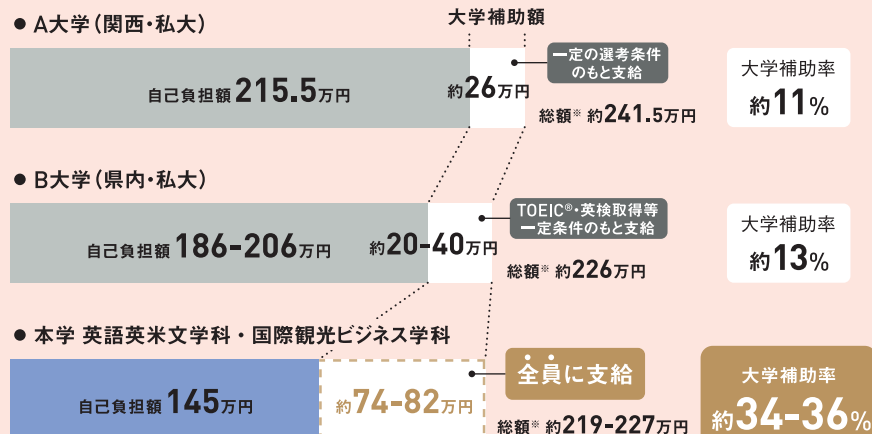
支援内容

長期留学にかかる自己負担額のうち

74-82万円
(2025年度実績)

- 対象者 英語英米文学科・国際観光ビジネス学科の学生全員(5ヵ月留学参加時)

留学費用の他大学との比較



\$1=158円

※現地授業料、ホームステイ費用、航空券代、ビザ申請費用、保険料等が含まれます(2025年度実績)。

留学

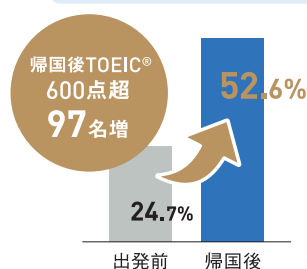
>> 安田の長期留学(5ヵ月)について >>

STAYS

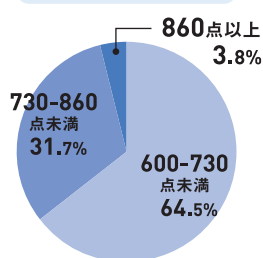
多文化が交差する北米へ！

- 対象 英語英米文学科2年次全員
- 留学先 カリフォルニア大学デヴィス校
ピッツバーグ大学
- 期間 約5ヵ月
- 特長 語学研修に加え、フィールドワークやボランティア活動を通して、生きた英語や多様な文化に触れることができます。

STAYS参加者のTOEIC®600点以上取得比較



TOEIC®スコア分布(600点以上)



(受験者数348人／2021～2025年度実績)

- TOEIC®600点：就職活動等で英語力をアピールできるレベル。
- TOEIC®730点：多様な状況で適切な英語コミュニケーションが可能で、海外赴任要件にも用いられるレベル。また、文部科学省が英語教員に求める基準スコア。
- TOEIC®860点：受験者の上位5%。Non-Nativeとして十分なコミュニケーションができるレベル。

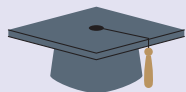


HIBISCUS

観光ビジネスの最前線ハワイへ！

- 対象 国際観光ビジネス学科
2年次後期または3年次前期全員
- 留学先 ハワイ大学マノア校
- 期間 約5ヵ月
- 特長 語学や観光・文化に関する授業に加え、全員が現地の観光関連企業やNGOなどでインターンシップやサービslラーニング(地域貢献活動)に参加。実際の現場を体験しながら、観光ビジネスを学びます。





高等教育の修学支援新制度

返還不要

安田女子大学は、本制度の対象校として認定されています。

この制度では、経済的な理由や多子世帯の教育費の負担増で教育を受ける機会が阻まれることのないように、対象学生は①日本学生支援機構から「給付奨学金」が支給されるほか、②対象大学における「授業料等の減免（授業料と入学金の免除または減免）」を受けることができます（ただし、所得状況や資産状況等で支援内容が異なることがあります）。

● 対象者 ● 全学部全学科

- 住民税非課税世帯およびそれに準ずる世帯の学生や多子世帯の学生で、かつ所定の対象要件（学業基準・家計基準）に該当する者

※日本学生支援機構の「進学資金シミュレーター」で、家計基準の該当するかどうかの確認ができます。

● 支援内容（2026年度時点）

① 給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）

採用区分	年間給付額	
	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	459,600円(510,000円)	909,600円
第Ⅱ区分	307,200円(340,800円)	607,200円
第Ⅲ区分	153,600円(170,400円)	303,600円
第Ⅳ区分(理工農系)*	-	-
第Ⅰ区分(多子世帯)	459,600円(510,000円)	909,600円
第Ⅱ区分(多子世帯)	307,200円(340,800円)	607,200円
第Ⅲ区分(多子世帯)	153,600円(170,400円)	303,600円
第Ⅳ区分(多子世帯)	115,200円(128,400円)	228,000円
多子世帯	-	-

※第Ⅳ区分(理工農系)は本学の場合、理工学部(生物科学科・情報科学科・建築学科)の3学科に進学する場合のみ対象。

○カッコ内の金額は、生活保護を受けている生計維持者と同居している者および社会的養護を必要とする者で児童養護施設等から通学する者が対象。

② 授業料等の減免（授業料と入学金の免除または減免）

採用区分	年間減免の上限額	
	入学金	授業料
第Ⅰ区分	満額[本学の場合 80,000円]	700,000円
第Ⅱ区分	入学料の3分の2	授業料の3分の2
第Ⅲ区分	入学料の3分の1	授業料の3分の1
第Ⅳ区分(理工農系)*	入学料の3分の1	授業料の3分の1
第Ⅰ区分(多子世帯)	満額[本学の場合 80,000円]	700,000円
第Ⅱ区分(多子世帯)	満額[本学の場合 80,000円]	700,000円
第Ⅲ区分(多子世帯)	満額[本学の場合 80,000円]	700,000円
第Ⅳ区分(多子世帯)	満額[本学の場合 80,000円]	700,000円
多子世帯	満額[本学の場合 80,000円]	700,000円

※第Ⅳ区分(理工農系)は本学の場合、理工学部(生物科学科・情報科学科・建築学科)の3学科に進学する場合のみ対象。

○例えば、年間授業料が70万円を超える場合、第Ⅱ区分では466,700円、第Ⅲ区分および第Ⅳ区分(理工農系)では、233,400円が減免金額となります。

○「入学料」「授業料」とは別に徴収する施設設備費・諸費・実習費等は含みません。

○減免額を除いた授業料等(差額分)は指定期日までに納入してください。

○本学独自の奨学生制度や特待生制度に認定された場合は、減額された金額から算定されます。

文部科学省「高等教育の修学支援新制度 特設ページ」▶



日本学生支援機構貸与奨学金

●対象者 全学部全学科

種別	貸与基準	通学区分	貸与月額
第一種 (無利子)	機構が定める 学力基準・家計を 満たした者	自宅	20,000円・30,000円・40,000円・54,000円から選択
		自宅外	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・64,000円から選択
自宅		20,000円～120,000円(1万円単位)・140,000円(薬学部のみ)から選択	
自宅外			
第二種 (有利子)			

※募集対象者に関する詳細や各基準等については、独立行政法人日本学生支援機構のホームページを確認してください。

※高等教育の修学支援新制度の給付奨学金や授業料減免と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合は、併給調整として貸与月額が制限されます。

独立行政法人日本学生支援機構ホームページ ▶



ひろしまDX人材育成奨学金

条件付返還不要

県内で不足するデジタル人材を育成するため、広島県が設けている「ひろしまDX人材育成奨学金」を活用した入試制度を設けています。

●対象者 情報科学科

●支援内容(昨年度実績) ※今年度(2027年度入試)の奨学金内容等は、8月下旬に公式ホームページで公開します。

対象入試	自己表現型選抜、総合型選抜(専願) ※専願制
認定枠	5名
期間	4年間 ※所定の継続条件については、広島県ホームページを確認してください。
貸与月額(無利子)	50,000円

●返還免除の条件

卒業後、9年間のうち8年間、広島県内企業等へ就業し、DX推進に資する業務に従事

●申請から受給までの流れ

- ①奨学金希望申請：希望者は本学所定の奨学金申請書を記入の上、出願確認票等の提出書類とともに入試広報課へ郵送する。
- ②推薦決定者通知：推薦決定者には合格通知とともに推薦状を送付する。
- ③奨学金受給手続き：推薦状とともに本学が案内する手続方法にしたがって、推薦決定者自身が手続を行う。

●他奨学との併用について

「YASUDAパスポート」や「高等教育の修学支援新制度」、「ひろしまDX人材育成奨学金」の併用が可能です。

広島県「ひろしまDX人材育成奨学金」ホームページ ▶



その他の奨学金制度

地方公共団体および民間育英団体等が扱う奨学金制度もありますが、その目的や方針によって内容が異なります。これらの奨学金に関しては本学学生課にお問い合わせください。

安田女子大学専用 アパート・マンションのご紹介



POINT

1 330室から選べる豊富な部屋数！

本学専用アパート・マンションは、大学でのみ紹介しています(不動産会社では紹介していません)。大学徒歩圏内に約40軒、部屋数で約330室を用意。家賃や生活スタイルに合わせて選べる「個別」「共同」の2タイプがあります。



個別タイプ

居室内にトイレ・バス・キッチンなど全ての設備を完備

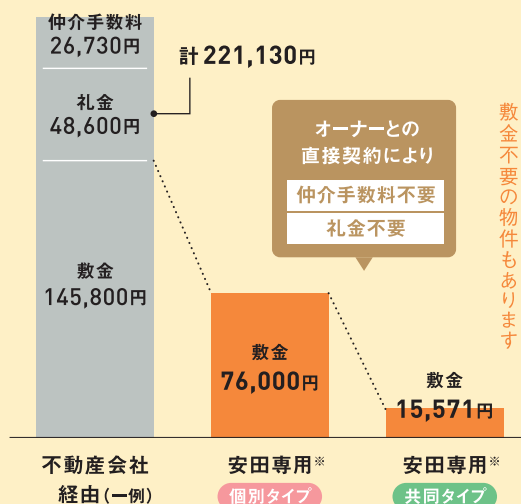
家賃平均 **41,000円**
(25,000円～53,000円)

共同タイプ

トイレやバスなど一部設備が居室の外にあり、数人で共有

家賃平均 **17,000円**
(15,000円～22,000円)

● 初期費用比較



※ 安田専用アパート・マンション全物件の平均値

POINT

2 大学が近くて通学に便利！

歩いて通える物件が多く、時間・経済的に通学にかかる負担が軽くなります。その分、学習時間が十分に確保でき、図書館(～21時)や自習室(～22時)もしっかり利用することができます。



大学まで

徒歩で	平均 7分
徒歩5分以内物件	45%
1km圏内物件	90%

自転車なしでも楽々通学！

POINT

3 本学の学生専用だから安心・安全！

入居者は安田女子大学の学生のみで、近くには信頼できるオーナーが住んでいます。大学とオーナーで定期的に懇談会も開催し、安心・安全な生活のために意見交換をしています。

安心・安全ポイント



全ての物件に防犯カメラ設置

物件同士が近隣にあるため、互いのカメラが多角的に死角をカバー。その他、センサーライト、オートロック、インターホンなどの安全設備を多くの物件が備えています。



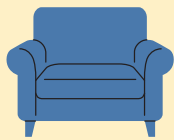
オーナーが近くに居住

ちょっとした困りごとにもすぐに相談でき、オーナーによっては親睦会を開くなど家庭的で細かい気配りをしてくれます。マスターキーの管理はオーナーのみ。さらに、大学とオーナーが様々な情報を共有することで、帰省や留学など長期の留守の際にも安心です。

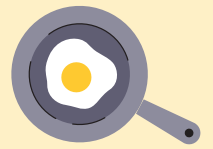


入居者は全て安田女子大学の学生

隣の部屋の住人も同じ大学の仲間なので安心。生活上のことも相談しやすく、学年や学科の違う学生同士のつながりを作る良い機会にもなります。



新入生全員が対象の 手厚いサポート体制



SUPPORT

1 バランスの取れた食生活をサポート！

「学生食堂 まほろば」では、朝食を無料で提供しています。和食の日はごはんとみそ汁、洋食の日はパンとスープ、そこに日替わりのおかずが付いています。また、200円で夕食も提供。自習・補講の前後やサークル活動後にもみんなで利用でき、一人暮らしの学生にも好評です。

朝食／無料

夕食／200円



朝食無料サービス

SUPPORT

2 時間を有効に使える 学内アルバイト！

移動時間が必要なく、空き時間を有効に活用できる学内でのアルバイトがあります。業務内容は情報教室の管理、PCサポートなど。アルバイトを通じて、学科や学年の垣根を越えた学生間のつながりも作ることができます。



SUPPORT

3 新生活の不安を解消するセミナーやイベント！

このほか様々な企画を開催！

一人暮らし支援イベント

新入生に、同郷の先輩や同級生との出会いの場を提供し、順調な大学生活をスタートしてもらうことを目的としたイベントです。

オリエンテーションセミナー

学生の、学生による、学生のための2泊3日の宿泊研修です。1976年から続いている安田の伝統行事です。



色々聞いてね！

新入生のためのクッキングセミナー

初めての一人暮らしで自炊に不安がある学生はもちろん、料理に関心があるけれど少し苦手という新入生を対象に、家政学部の上級生がアドバイザーとなって料理の基礎をサポートします。大学生活や一人暮らしの不安などを相談できる良い機会にもなっています。

● 安田女子大学専用アパート・マンションに住む先輩のリアルをご紹介します！

個別タイプ S.Yさん(教育学部4年生)



一人暮らしを始める前は、不安が8割を占めていました。しかし実際に入居してみると、当初の不安は少しずつ解消されていきました。大家さんは優しく、困ったときは助けてくださるとても心強い存在で、皆が仲良くなれるよう交流会を開いてくださいました。アパートから大学までの距離がとても近いので、帰宅時間が遅くなったときもすぐに帰ることができます。また、休日でも大学へ行きたいときにすぐに行くことができるのでとても便利です。今は時間を上手に使って勉強をしたり、友達と楽しい時間を過ごしたりして毎日がとても充実しています。

共同タイプ R.Nさん(薬学部4年生)



共同アパートを選んで良かったと感じることは、同じアパートに住む学生同士で強いつながりを持てたことです。大家さんが4月に顔合わせ会を開いてくれ、出身も学科も全く違う学生同士でも仲良くなれるきっかけとなりました。平日は、一緒に食堂の無料朝食を食べに行き、それぞれで授業を受けた後、食堂に集まって夕食を食べて、一緒に帰るという生活をしています。悩み事があればお互いに相談し合うこともあり、友達というよりも、もっと密接な関係のように感じることもあります。家族と離れて生活していくことに自信がなくても、仲間と支え合いながら生活力を高めることができます。



ある日のスケジュール

- 8:00 ● 食堂で朝食(無料)
- 9:00 ● 授業
- 10:40 ● 授業
- 12:10 ● 昼食
- 13:00 ● 授業
- 14:40 ● 友人と過ごしたり、図書館で調べもの
- 16:00 ● サークル活動
- 17:00 ● 学内アルバイト
- 18:30 ● 食堂で夕食(200円)
- 19:00 ● 自習室で授業の予習・復習
- 22:00 ● 帰宅

挑戦を支える学修環境

- 最新の研究施設や豊富な自習スペースで、学修・研究をサポートします。



● 学科の枠を超えた学び

全学科共通で学ぶ「共通教育科目」と、学科を問わず履修できる「他学科科目履修」を設け、多様な学びを支援。



● 課外講座

就職活動や実社会に出て役立つ内容の課外講座(航空業界対策講座、日商簿記対策講座など)をラインアップ。



チューター制度

クラスごとにチューター(担任)が決まっており、週に一度、クラス単位で全員集まる

「まほろば教養ゼミ」という安田ならではの授業があります。チューターは、健康状態やメンタル面などについて、適切なアドバイスをを行います。



入学前学習

一般選抜[後期日程]、大学入学共通テスト利用選抜[後期日程]を除く全選抜の合格者(一部の学科を除く)に対し、AIを用いたWEB診断による効率的な学習などにより、入学前から基礎知識の定着をサポートします。

広島

安田女子大学

〒731-0153 広島県広島市安佐南区安東六丁目13番1号

安田女子大学ホームページ



お問い合わせ

- 高等教育の修学支援新制度、日本学生支援機構奨学金、学生専用アパート・マンションについて／学生課 gakusei.box@yasuda-u.ac.jp
- その他について／入試広報課 nyushi.box@yasuda-u.ac.jp